



いわみ

議会だより

No.119

平成26年 5月 1日発行



3月定例会

2 昭和29年7月 岩美町誕生

60年を祝い記念事業実施

4 主な議案の概要・質疑、人事案件

10 一般質問 6 議員が町政を質す

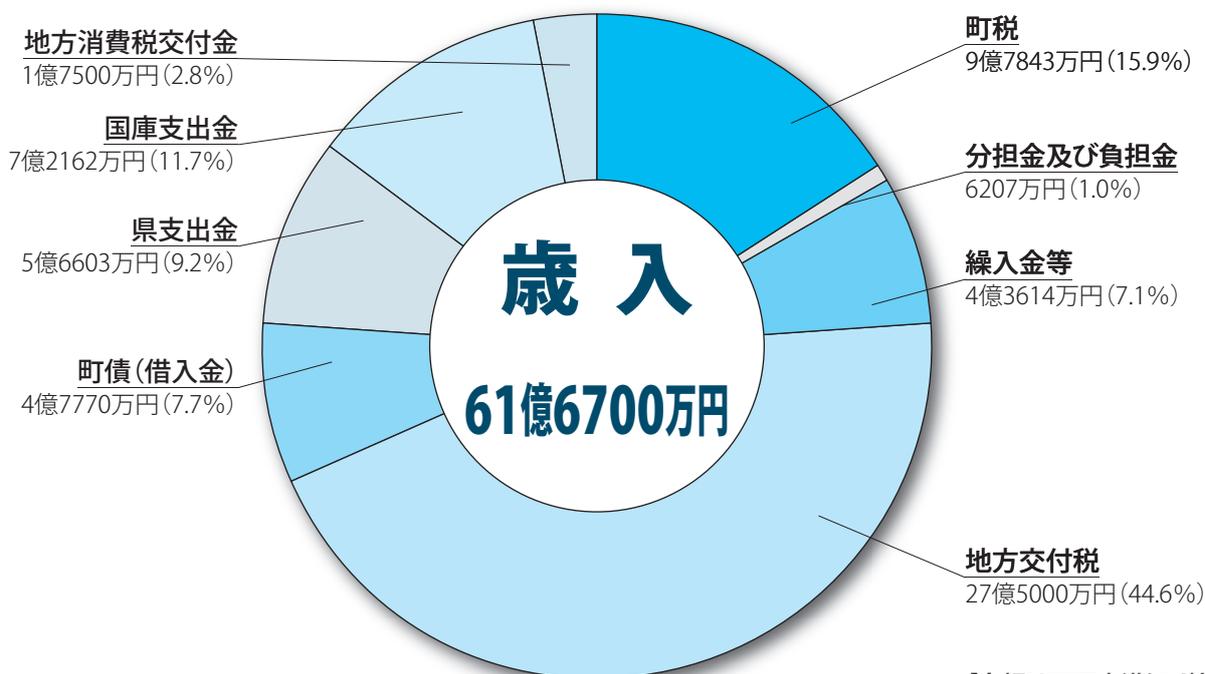
16 県選出国會議員と総務省へ要望書提出

18 岩美高の新生生に聞きました

4月26日オープンした
どんづまりハウスとスタッフ

岩美町誕生 記念事業実施

〔入るお金〕



〔金額は万円未満切り捨て〕

3月定例会は、3月7日から24日まで、18日間の会期で開きました。

今議会に提案された25年度補正予算案11議案、26年度当初予算案11議案、条例の設定および改正など13議案、副町長の選任につき同意など、追加2議案のすべてを、原案どおり可決しました。

新たに実施する主な事業

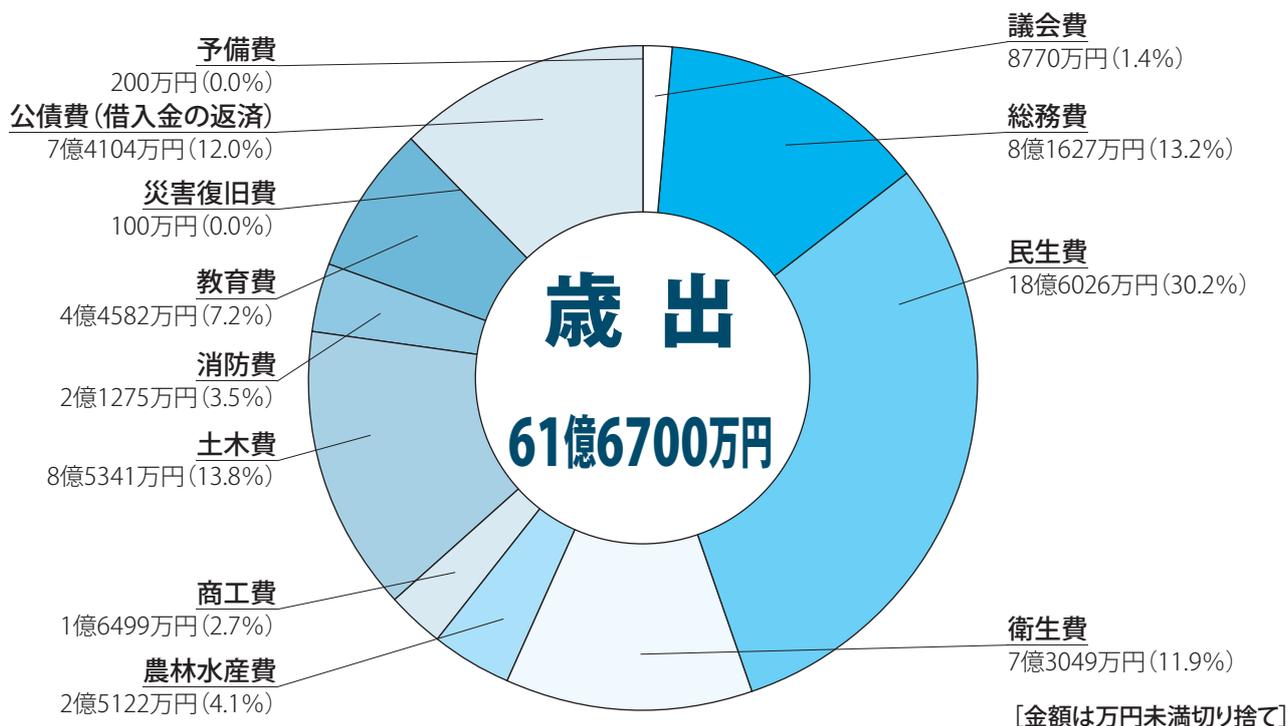
- 町制施行60周年記念事業
 - ・ 町制施行60周年記念式典
 - ・ いわみふるさと音楽堂完成記念公演
 - ・ オリジナルナンバードプレート作成
 - ・ 岩美町「暮らしの便利帳」発行
 - ・ よしもとライブ公演
- 第3子以降の出生に祝金を核家族世帯3万円、多世代同居世帯10万円支給し、子育てを支援
- 子どものおたふくかぜ、ロタウイルス（感染性胃腸炎）ワクチンの予防接種費用を3000円から4500円助成
- いわみ暮らしおためし住宅の設置で、移住定住を推進
- 岩美高等学校生徒で、遠距離により自宅からの通学が困難なため、町内に下宿する生徒の下宿費を月額1万円を上限に助成
- 井戸海水を利用した陸上養殖の起業をする民間企業を支援
- 産後1ヶ月後に実施される1ヶ月児健康診査費を5000円を上限に助成

平成26年度当初予算

昭和29年7月1日

60年を祝い

〔使うお金〕



特別会計・企業会計予算額

会計名		予算額
特別会計	住宅新築資金等貸付	135 万円
	代替バス運送事業	3389 万円
	後期高齢者医療	1 億 3843 万円
	国民健康保険	14 億 9291 万円
	集落排水処理事業	1 億 2435 万円
	公共下水道事業	4 億 5774 万円
	介護保険	15 億 5756 万円
	訪問看護ステーション	4259 万円
企業会計	水道事業	3 億 3615 万円
	病院事業	21 億 8136 万円

拡充する主な事業

- 30人学級を小学校5年生でも実施（小学校1年生から5年生、中学校全学年が30人学級、小学校6年生が35人学級）
- 地域おこし協力隊制度の民宿経営者と水中カメラマンをそれぞれ1名雇用

新年度議案の審議

本会議 (3月10・13日)

平成26年度関係議案(条例・予算)
一括説明・質疑



予算審査特別委員会

平成26年度予算審査
審査(3月13・14・18日)

常任委員会

平成26年度条例審査
審査(3月14日)



本会議 (3月24日)

各常任委員長報告(条例)
予算審査特別委員長報告(予算)
質疑・討論・採決

主な議案の概要・質疑

条例

いわみ暮らしおためし住宅の設置及び管理に関する条例

あるので訂正をお願いする。

本町への移住定住を促進することを目的に、生活が体験できる施設として、おためし住宅を設置する。

問 別表には1日当たりの使用料の規定がない。

例 町民の文化芸術の振興と、交流による地域活性化を図ることを目的に、いわみふるさと音楽堂を設置する。

答 そこをきたす恐れが

問 活性化という点から



いわみふるさと音楽堂

すれば、音楽好きの若者は、夜10時以降5時まででも活動したいと思うが、開場時間を広げてはどうか。

答 施設を管理し、条例に定めるには、使用時間の一定の制限をしておく必要がある。

ただし、演目によって深夜でも騒音にならないようなものや、地域に受け入れられるようなものは柔軟に対応したい。

社会教育委員条例の一部改正

委員は、学校教育および社会教育の関係者・家庭教育の向上に資する活動を行う者ならびに学識経験のある者の中から委嘱する。

小羽尾児童遊園の指定管理者の指定

小羽尾部落
26年4月1日から31年3月31日まで

道路線の変更

大谷21号線の終点位置を、大字大谷字西町屋敷821地先から、大字

大谷字清水1111512地先に変更する。

消費税法の改正に伴う関係条例の一部改正

消費税法の一部を改正する等の法律等の施行に伴い、消費税が課税される次の条例の一部を改正する。

- 法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- 漁港管理条例の一部改正

道路占用料徴収条例の一部改正

- 集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例

下水道条例の一部改正

- 個別排水処理施設の設置及び管理に関する条例

水道事業の設置などに関する条例の一部改正

- 国民健康保険若美病院の使用料及び手数料条例の一部改正

財政管理費

問 ふるさと納税の報償金は、どのくらいを予定しているのか。

上している。

答 報償費として288万9000円を計

50000円の方には、約25000円相当の品物を、3万円以上の方には、25000円に加えて50000円相当の品物を選んでいただき、お送りしている。

災害対策費

問 防災会議の25年度の実績と、26年度の開催予定は。

答 25年度の計画では3回と予定していたが、3月28日によく防災計画の見直しと、防災行政無線のデジタル化の完成にあわせて、開催する計画だ。

問 自主防災組織の26年度の立ち上げの計画・目標はどうか。

答 26年度の自主防災組織の結成は、全地区にお願いすべきだが、現在は網代地区をモデル地区に指定している。

また、大羽尾、小羽尾を含めた東地区の自主防災組織の結成につなげていきたい。

小田地区は、要援護者の名簿などを作成していただいている。

結成の活動も集落担当員と一緒に進めていきたい。



防災研修会

不具合箇所などの整備で、追いつかない状況になった場合は、改修を進めていきたい。

道路新設改良費

問 消雪装置の既存の設備は、年次計画的に、老朽化を含め改良・修繕をしていく考えがあるのか。

消雪装置の維持管理の考え方はどうか。

答 冬季の降雪前には維持管理を実施して、消雪ができるように対応している。

人事

副町長の選任に同意しました。

西垣 英彦 (新井)

岡村 三男 (浦富)

(敬称略)

人権擁護委員候補者の推薦を決めました。



ふるさと納税パンフレット

予算審査特別委員会の審査

の見積もりは。

答 国ベースの交付税総額は1パーセントの減だが、25年度にあった地方公

務員の給与削減の復元と、福祉関係の単位費用の増加、過疎債の償還に対する交付税措置の増加分。

【歳出】 企画費

問 町制60周年と世界ジオパーク再認定の年であり、景観上の面から放置空き家の対策の検討は。

答 実質的な撤去は難航するが、空き家対策条例を検討中で、26年度には策定したい。

問 おためし住宅活用のための、移住定住の専門職員はいるか。

答 中山間対策などと兼任だが、課内に前任者もあり、問い合わせには課の全職員で、対応できるようにしたい。

予防費

問 子宮頸がん予防ワクチン接種により、副反応の事例が全国で発生しているが町の対応は。

答 町内では副反応などの健康被害は発生していない。

25年6月の厚生労働省通知に基づき、積極的な接種勧奨は控えている。希望者には説明を行った上で、接種券を発行しているが、26年度は送付しない。

問 副反応が発生した場合の対応は。

26年度の予算に関する11議案を、議長を除く議員全員で構成する特別委員会（船田爲久委員長）を設置して審査しました。
総務教育、産業福祉の各分科会で分担し、各分科会委員長の報告をもとに、予算議案全体の審査を行いました。
その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとしました。
主な審査状況は、次のとおりです。

一般会計

【歳入】

問 地方消費税交付金の増加分と、歳出における消費税の増額の影響は。

答 地方消費税の増加は1600万円程度と見込み、この収入は社会保障財源とすることを、予算・決算書に明記するようになっていた。

一般会計などで増額になる6000万円の影響分は、交付税などの一般財源で賄われる。

問 地方交付税の4.2パーセント増



おためし住宅 (浦富)

答 定期予防接種であり、町は国・県に報告と協議を行い、副反応と認定された場合は、予防接種健康被害救済制度により、補償される。

道路新設改良費

問 橋りよりの老朽化対策は。

答 橋りよりの補修は、23年に策定した「橋りよりの長寿命化修繕計画」に基づき、今後計画的に修繕していく予定。

26年度は、吉田橋の補修工事と吉田川に架かる堀川橋の調査設計を予定している。

非常備消防費

問 新聞報道では、国は消防団員報酬として、年額3万6500円。出勤手当1回当たり7000円を交付税措置しているところがあるが、本町との関連は。

答 交付税算定では、消防団員の規模は、人口10万人当たり563人で設定されており、この基準で算定すれば本町は、543万5000円と見込まれるが、724万円の予算措置をしている。

本町は交付税算定の10倍近い団員を維持し、住民の安心安全の確保に努力している。

(小学校・中学校) 教育振興費

問 土曜授業を、今後どのように進めるのか。

答 26年度の実施は、見送ったところである。

今後、関係団体や県、他市町村とさらに協議を重ね実施に当たっては、しっかりとした目的を掲げて、取り組みたい。

公民館費

問 施政方針の中で、中央公民館の建替えを、5年後を目途に検討することだが、状況説明を。

答 現在の中央公民館は、老朽化が進んでおり、近い将来大きな修繕が予想されることから、町立図書館を含め、検討を行いたい。

その際には、町民に広く意見を聞き、ふるさと納税や寄付を募りたい。

代替バス運送事業特別会計

問 乗車率の向上策は。

答 費用対効果の面で、運行経路の充実が難しいが、アニメ「Free!」の活用や地域での乗車運動、25年度実施の「ノルデ運動」の活用をしたい。

水道事業会計

問 特別損失の内容は。

答 新会計基準への移行に伴い、改めて帳簿や資産など決算書のある限りさかのぼって再点検した結果、過誤やそごが発見され、修正するものであり大変申し訳ない。

病院事業会計

問 賞与引当金と貸倒引当金の内容は。

答 新会計基準への移行に伴い、26年度の夏季期末勤勉手当の25年度期間相当分を特別損失に、27年度の夏季期末勤勉手当の26年度期間相当分を賞与引当金として計上し、26年度は16ヶ月分の期末勤勉手当を計上している。

また、貸倒引当金は、過去3年間の不納欠損額を考慮して算出している。

問 固定資産の整理に伴う特別利益、特別損失の内容は。

答 固定資産の適切な管理ができていないと申し訳ない。内容は、新会計基準への移行に伴い、行った試算の精査により、発見した減価償却費の誤りを修正した。



町営バス（岩美病院前）

一般会計補正予算

950万円減額し、総額を66億1380万円とした。

歳出の主なもの

・地方バス路線維持費補助金

869万円増額

岩井線2系統の国庫補助対象外部分のバス事業者への町補助金

・ふるさと岩美まちづくり基金費

825万円増額

25年度末、寄付金額1700万円、件数750件見込む。

・児童手当

142万円減額

出生見込み数の減により延べ43人分

・新規・開業支援事業費

250万円減額

該当事業所がなかった。

・中小企業小口融資貸付金

529万円減額

新規貸付の希望がなかった。

・スポーツ大会派遣費補助金

130万円増額

岩美ジュニアミニバスケットクラブ(男子) 全国大会、及び岩美中ハレー部(男子) 中国大会の派遣費用の追加。

・地区公民館管理運営費

134万円増額

各地区の施設修繕料と東、浦富、田後、網代、小田の5地区にAEDを設置する。

・定置網漁業導入支援事業費

788万円増額

当初事業費は網の購入代のみだったが、事業費に設置経費を追加する。あわせて、この事業を26年度へ繰り越す。

代替バス運送事業 特別会計補正予算

歳入の主なもの

・使用料

49万円増額

アニメ「Free!」観光客の増により、収入の増を見込む。

国民健康保険 特別会計補正予算

歳出の主なもの

・出産育児一時金

84万円増額

出生見込み数の増。10件が最終12件



定置網漁業による魚仕分け作業

請願・陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択理由
「特定秘密の保護に関する法律」(秘密保護法)の廃止を求める請願書 鳥取市西品治806 憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁 紹介議員 岩美町議会議員 田中克美	不採択	採択 田中克美 日出嶋香代子 不採択 9人	この法律は国会で修正し成立した法律で、我が国の安全保障を考えた場合、必要な法律であると考えられる。
これからの勤労青年教育のあり方に関することについての陳情書 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号(日本青年館内) 日本青年団協議会 会長 立道 斉	採 択	全会一致	

遊歩道を適切に管理せよ

竹中一浩議員

環境省・県と連携しながら 取り組む

榎本町長



竹中一浩議員

竹中 いよいよ世界ジオパーク再審査の年を迎えた。

遊歩道が落石のため、一部通行止めになっているが開通の見通しはどのようなになっているか。

町長 現在、環境省より事業委託を受け、鳥取県が対策工事を施工中であり、本年度末までに通行止めを解除する予定だ。

竹中 遊歩道の危険個所の把握や今後の修繕計画はどうか。

町長 毎年、環境省・県・町の三者で現地調査

を行っている。

全体で28カ所の修繕が必要であり、25年度と26年度で完了したい。

竹中 遊歩道の案内看板は適切に管理されているか。

町長 できるだけ利用者にわかりやすい案内になるよう改めて点検をしたい。

竹中 鴨ヶ磯バリアフリー遊歩道の設置が計画されているが、経過と現在の進捗状況は。

町長 ジオパークを進める中で、バリアフリーの社会に対応した公園のあるべき姿として、国や県に訴えてきた。

環境省が所管する国立公園、文化庁が所管する

名勝・天然記念物という厳しい規制がかかっており、非常に難しい協議を進めている実情である。

事業上の補助の上限額を上げてダイナミックな提案をしていただけるようにしてはどうか。

竹中 山陰海岸ジオパーク推進事業である「山陰海岸ジオツーリズム振興

町長 県の交流体験事業に対する助成と絡み合わせたり、さらに工夫させ



浦富海岸遊歩道案内看板（網代）

る点は多々あると思う。今後十分に検討していく。

どうか。

竹中 「みんなでジオ気運盛り上げ事業」に關し、子どもが家族と一緒に学んだり、体験することも、補助対象としては

町長 地域コミュニティも含め、町内会・学校の保護者などでグループづくりをしていただき、既存の事業で対応していただきたい。

正しい日本地図を各教室に 常時掲示すべき

竹中一浩議員

学習場面ごとの掲示が 効果的

寺西教育長

竹中 町内の小中学校において、正しい日本の地図や領土教育をどう行っているか。

境を整えてはどうか。

教育長 各学年ごとに、学習指導要領に位置付けられた内容を、発達段階に合わせながら学習している。

教育長 各学校の社会科研究会などで、デジタルデータをプロジェクトで映すなど、工夫を学習している。

竹中 国土地理院発行の、正しい日本地図を各教室に掲示して、正確な日本の形を学習できる環

常時掲示することよりも、学習に合わせた場面で掲示し、学習を深めたり、学習内容の目的に到達させるようにしたほうが効果的であると考え

9次総の人口・年齢構成の 目標達成は

河下哲志議員

減少させないよう取り組む

榎本町長



河下哲志議員

河下 9次総合計画（9次総）が掲げている、33年度目標人口1万2000人と、年齢構成の目標達成はどうか。

町長 集落を維持できない状況が起きるのではないかと、危機感があるが現状維持に力いっぱい取り組む。

河下 9次総での民間宅地の供給数80区画、空き家入居件数20件の目標の進捗は。

町長 民間宅地は、岩美道路関係、岩井の大型宅地造成など大幅に達成し



岩井宅地造成地

ている。
空き家は、登録しやすい制度づくりに一生懸命取り組んでいる。

河下 空き家の問い合わせは、どういった人からか。

企画財政課長 都会で定年退職を迎える人で、老後は海の見える田舎で暮らしたいという希望を持った人が多い。

地域おこし協力隊をフリー 現象にいかせ

河下哲志議員

ファン目線に対応すること が大事

榎本町長

河下 地域おこし協力隊が、アニメ「Free!」現象のコーディネートをやっているのか。

を置いたらどうか。

町長 配置は考えていないし、考えるべきでないと言ったほうがいいのかもわからない。

要するに、ファン目線で行かして行政や、町民が対応するかということがリピーターにつながると思う。

町長 現在、町観光協会の中で地域おこし協力隊員が主になって、ファンサービスや、引き続き町を訪れてくれるような仕組みづくりに取り組んでいる。

河下 地域おこし協力隊メンバーが関わっている場所に聖地巡礼者のためのフリースペースを作っているかどうか。

町長 隊員の合意が得られるならばかまわないと思う。

河下 巡礼者への新たな専任のコーディネーター

今後の子育て支援の重点は何か

芝岡みどり議員

1ヶ月児健診費助成など全般を充実したい

榎本町長



芝岡みどり議員

芝岡 本町の人口推移と今後の見通しを聞く。

町長 2020年は1万694人、30年は9143人、40年は7669人。

県全体の人口推移よりも、若干緩やかではあるが、似たような傾向で推移するものと予測される。独自で目標設定にした33年の1万2000人を達成できるようがんばっていききたい。

芝岡 住みよい本町にするために、今後の子育て支援はどこに重点を置いて取り組むのか。

町長 不妊治療に対する助成制度を設けたり、産後1ヶ月児健診の助成も始める。

出産から教育に至るまで、さまざまに取り組んできたつもりだ。子育て全般に力を入れていく必要がある。

芝岡 両親の悩み相談は大切な子育て支援策だ。わかりやすいホームページづくりに取り組むべきと考える。

町長 ホームページ、町広報に力を入れて取り組みたいが、口コミが非常に大きな力を持っている。情報提供をしっかりして、町民の力もかりながら、「子育てするなら岩美町」となるようがんばっていききたい。

ばっていききたい。



遊びの広場で遊ぶ園児たち

交通アクセスのよさを企業誘致にいかせないか

芝岡みどり議員

企業誘致も進めるが、ベッドタウンもある

榎本町長

芝岡 本町で若者が働けるように企業誘致に力を入れるべきだと考えるが、企業誘致について、これまでどう取り組んだのか。

町長 県とともにいろんな企業に声をかけて、アプローチもしているが、非常に困難な状況だ。

芝岡 東部圏域の交通アクセスもさらによくなり、本町のPRを行い、企業誘致につなげていくということができるのか。

町長 企業誘致も力いっぱいがんばるが、本町は鳥取市のベッドタウンという観点もある。

道の駅の特徴が見えない どう進めるか

松井俊明議員

水産業、農業を特色にする

榎本町長



松井俊明議員

松井 1月14日から2月20日まで、テナント募集をかけたが、軽食コーナーとコンビニエンスストア以外は応募希望者がなかったが、原因は。

町長 場所的に将来の不安とか、出店者がすでに決まっている話ではないかと、風聞が先行しており、これが妨げになっていると感じている。
レストランに応募がなかったことは、理由を推し測ることができていない。

松井 道の駅はまだ特徴が見えない。今後どう進



道の駅シンポジウムの様子

めようと考えているか。

町長 特色づくりでは、水産業、農業は必須であり、それを特色にする以外にないと考えている。

農産物でも水産物でも、半端な規格のものなども出せる仕組みが必要だと思っている。
設立協議会と相談していきたい。

松井 町長は施政方針で、道の駅を本町活性化の起爆剤として開業をめざすと述べている。どういう方向で爆発させるか。

町長 漁業も農業もいま大きな転換期にあり、本町の農業、漁業は本当に危機的状況に陥っている。生産意欲を喚起することにつなげなければいけないと思う。

鴨ヶ磯の人道トンネルを 県に働きかけを

松井俊明議員

国の予算化のため、 がんばりたい

榎本町長

松井 鴨ヶ磯に人道トンネルをつくるということ、県に積極的に働きかけてほしい。

トンネルができるような話ではない。少しでも早いうちに、国が本格的に予算をつけるようがんばりたい。

町長 名勝天然記念物と国立公園という2つの大きな規制がかかっており、環境省の事業でやると聞いている。

文化庁の了解を得るために必要な手続きに向け、地権者を特定するための作業をしている。

文化財の関係は困難が予想され、今年や来年に

本町の人口対策を進めよ

日出嶋香代子議員

子育て、住宅支援などに 取り組んでいる

榎本町長



日出嶋香代子議員

日出嶋 町の人口は減少が続いている。財政の健全化と並行して人口対策は重要な問題と考えているが、どうか。

町長 大変重要な課題で私も、職員も努力しているが、最近では核家族化など、今までの風潮が失われてきている。人口対策は、国策として考える必要があると思う。

日出嶋 子どもは地域の宝であり、町が存続するための原点だ。保育の予算をもっとかやせないか。



駟馳山バイパス進入路

町長 保育の予算には保育料の軽減の部分と児童措置費がある。保育士の人件費に1億8300万円、その他の運営費に1億3456万円、総額約3億1700万円使っている。

また、保育料も2人目、

3人目と優遇している。これ以上は厳しい。

日出嶋 本町も3月22日、駟馳山トンネルが開通して、鳥取市と近くなった。鳥取市のベットタウンとして、住宅政策など大胆な助成をしてはどうか。

町長 家賃補助とか住宅の補助をしている。今以上の金額は考えていない。

日出嶋 町有地の活用は考えないか。医師住宅など使われていない所もあるが。

町長 現在のところ、町有地はない。また、医師住宅は、医師の確保のために用意してあるものだ。

若者サロンで婚活事業を

日出嶋香代子議員

できるできない

寺西教育長

日出嶋 若者サロンは若者の交流や意見、アイデアなどを活用する場として設置した。

現在の進捗状況はどうか。

大会、青年団活動など。今度、鳥取のしゃんしゃん祭に参加したいと思う。

日出嶋 若者サロンの活動として、婚活交流事業を組み入れてはどうか。

教育長 町内の若者が絆を深めまちづくりに意見やアイデアを出してほしいと考えて、支援している。

現実には集まる若者も多くなく、行政が絡むと嫌だという若者もいる。活動としてはスポーツ

教育長 若者サロンは押しつけでなく、若者の主体性を尊重したいと思っている。

結婚問題のことまで解決するということではないと思う。

消費税増税の負担軽減を 検討してはどうか

田中克美議員

検討したが、値上げは やむを得ない

榎本町長



田中克美議員

田中 地方消費税交付金
が、昨年度の当初予算よ
り1280万円ふえる。

これを財源に、負担軽
減を検討してはどうか。

町長 消費税増税に伴い
町が課税をしている案件
について、何とか現行の
税含みの金額にとめたい
という思いだった。

バス料金は従来通りに
したが、上下水道料金は
経営見通しが厳しい状況
であり、やむを得ず値上
げした。非課税のお年寄
り世帯の基本料金を半額
にする対応は続ける。

田中 消費税が上がれば

岩美高生がふえる 取り組みを

田中克美議員

取り組んでいきたい

榎本町長



新生入生に部活紹介（岩美高 4月8日）

田中 高校再編の中で存
続の判断基準として生徒
数の増減が大きいと思う。
下宿費の補助をやるが、
生徒がふえるような検討
をしてほしい。

町長 下宿費の補助は、
常任委員会とよく相談し
たい。

田中 生徒や学校が地域
にかかわる活動に、町が
財政支援していくイメー
ジはあるか。

町長 学校づくりに行政
がどの程度できるかしつ
かり見極めながら、議会
ともよく相談し取り組ん
でいきたい。

道の駅設立協議会で議論し 方向を示せ

田中克美議員

今後しっかりやる

榎本町長

田中 道の駅を町の産業
活性化の拠点にするため、
設立協議会の議論はどつ
か。

ばならないと思っている。

町長 特色である農業、
漁業の生産者と、運営主
体とが密接に生産者のた
めの施設づくりを第一に
考えなければならぬと思
っている。

田中 担当者任せとか団
体任せとかじゃなく設立
協議会として、集団とし
て議論する方向でやって
ほしい。

生産者との意見交換を
しっかりしていかなくて
はならない。

町長 めざすところを今
一度確認しながら、今後
しっかりやる。

県選出の国会議員と 総務省へ要望書提出

町議会は、4月7日（月）9名の議員が、自民党本部へ陳情に行き、石破幹事長、舞立参議院議員を訪ね、地方交付税の総額確保及び別枠堅持を求め、「交付税の確保と単独自立市町村への配慮について」の要望書を手渡しました。

これは、平成大合併で合併しなかった県内9市町村（境港市・岩美町・智頭町・若桜町・三朝町・日吉津村・日野町・江府町・日南町）で結成していた「自立を目指す市町村元気サミット」が2013年に解散した時、地方交付税の総額確保と自立市町村への配慮を、国に求めることを決議し、議会に対し支援の要請があり、議会が昨年12月議会で、意見書を議決したことによるもの

です。意見書の内容は、国は合併市町村に対し、合併特例債の期限延長と、地方交付税の総額が増えていない中で、合併をしなければならなかった自立市町村へのしわ寄せになるのではないかと危惧し、地方交付税の総額確保と自立市町村への配慮を求めるものです。また、同日、土屋衆議



石破幹事長、舞立参議院議員



土屋衆議院議員



財政課長



交付税課長



事務次官



官房審議官



自治財政局長

院議員（前武蔵野市長）にも要望書を提出した後総務省へ行き、岡崎事務次官をはじめ担当の各部署へ要望書を提出し、理解を求めました。また、議会は昨年9月30日に「道州制導入に断

固反対する意見書」を決議し、関係機関に意見書を提出しています。今回、「交付税の確保と単独自立市町村への配慮について」の要望書とともに、道州制導入の検討にあたっては、地方の

声である地方六団体の意見を十分に聞きながら、議論していただくことを要望書として提出いたしました。 ※赤沢衆議院議員は公務のため秘書が対応

武蔵野市議会議員との 交流深まる

武蔵野市へ表敬訪問

4月6日(日)には、武蔵野市議会を訪問し、桜まつり、アンテナショップ表わら帽子を見学しました。

桜まつりは、武蔵野市の一大イベントです。

武蔵野市民公園をメインに行われた桜まつりには多くの店が並び、本町も出店をいたしました。

本町の産物は大変評判が良く、短時間で売り切れてしまいました。

また、桜まつりの式典では、市民に紹介をしていただき、岩美町をPRしてこることができました。武蔵野市議会議員・友好都市の富山県南砺市議会議員の皆さんとも交流を深めることができ、有意義な表敬訪問となりました。

アンテナショップ表わら帽子は、吉祥寺の中通りにあり、友好都市のPRや物産の販売を目的に設置された施設です。

本町の農・水産物の特産品が販売され、根強い人気を保っています。



桜まつりで岩美町議会を紹介



岩美町の特産品販売



桜まつり会場にて



アンテナショップ内部の様子



アンテナショップ

岩美高の新入生に聞きました

*頑張りたいことは部活や勉強で一生懸命あきらめずにやりとげることです。

*勉強と部活を両立させていきたい。

*僕は将来、情報関係の仕事に就くために岩美高校で色々な資格をとるためにがんばりたいと思っています。

*友達をたくさん作りたい。勉強をがんばりたい。

*岩美高でがんばりたいことは部活動です。これからの練習を必死にやっけて甲子園に出場します。

*卓球部に入り練習を誰よりもがんばり、試合で1球1球あきらめず全力でがんばっていきたくいです。

*ウエイトリフティング部で誰よりも努力して、インターハイ、国体、全国選抜に出ること。

*介護関係の検定に積極的に挑戦していこうと思います。あと勉強も自分から積極的に取り組み、部活動では大会で勝てるようにがんばろうと思っています。

*勉強で大学に入るために中学校以上に勉強に力を入れていきたいと思いました。

*将来の夢の勉強をがんばりたい。手話部で自分が思っていることを手話で話すことができるのを目標に頑張りたい。

*部活をがんばりたいです。中学校の時になかった部活がいくつかあったので興味を持ちました。

*野球部に入るつもりですが、放送部などの文化系の部にも入ってみたいですね。生徒会にも興味があります。

*2年生から分かれる類型に向けての学習や普段の学校生活の中でいろいろな場面での礼儀を身に着ける。

*英語が苦手なのでもっと勉強して分かるようになりたい。

岩美町の好きなところ、岩美町の印象は？

*岩美町は海がきれいなのでそこが好きなところだ。

*明るいい人、優しい人が多いので、なんだかあったかそうな、過ごしやすそうな町だなあと感じました。

*岩美町は最初、自然にとて囲まれている町なのかなあと感じていたけれど画期的で少しおどろきました。

*優しく接してください。町民の方々や海や山に囲まれた岩美町が好きです。

*おいしいものがたくさんあり、町の人が親切でとても心温かい。

*地域の方が優しいところ。あいさつを返してくれる。緑豊かな町。

*静かで居心地の良い町ですし、きれいな校舎にドキドキがとまりません！

*空気が澄んでいるところ。海が近くてきれいなところ。自然に囲まれている。海や山があつて落ち着いた雰囲気が好きです。

*海と山と田んぼが多い。

*学校がとてもきれいです。

紙面の都合上一部の掲載になりました。新入生全員にご協力いただき、ありがとうございました。

編集後記

今号の議会だより編集が、今期最後の仕事となりました。

編集はいつも、かんかんがくがくの議論でしたが、ともすれば、マンネリになりがちだったかなと反省しきりです。

6月議会だよりからは、改選後の新メンバーが編集することになります。

次期編集委員会に対しても、忌憚のないご意見を寄せください。

これまでのご愛読に感謝申し上げます。ありがとうございました。

議会だより調査特別委員会委員

議長	津村 忠彦
副議長	船木 祥一
委員長	芝岡みどり
副委員長	田中 克美
委員	柳 正敏
委員	竹中 一浩
委員	澤 治樹
委員	松井 俊明
委員	河下 哲志
委員	田中 伸吾